

今日の説教のポイント <マタイによる福音書 11章 2～15節>

①バプテスマのヨハネがイエス様を疑った？

イエス様に洗礼を受け、「私こそあなたから洗礼を受けるべきなのに」(3:14)と言ったヨハネが、今、イエス様に迷いが生じています。その理由は何でしょう？

②私の期待にそわない神様は信じない？

ヨハネも人々も、神様の救い主が来られる時はダビデ王の再来として圧倒的な力を持たれた王の出現を期待していました。しかし、イエス様によって苦しむ人々は癒され、貧しい人々には福音が告げられた(4-5)ものの、期待したような事態は一向に起こらなかったのです。だから迷いが生じた？ しかし、もし自分勝手に期待していたことが勘違い、思い違いだった場合はどうなるのでしょうか？！

③神様のなさり方に注目するようになる時に全てが変わる！

イエス様のお答えは明確でした、「見聞きしていることをヨハネに伝えなさい」(4)。イエス様が伝えなさいと言われたことは、「苦しみ、貧しく、軽んじられて来た人々が私によって癒され、あるいは私が語る言葉を聞いて、喜び、神様に感謝して生き始めているではないか」、ということです。また、「私につまずかない人は幸いである」(6)とも言われています。4～6節を読む時、そこに記された不思議な出来事に目を奪われるのではなく、それを起こされたのがイエス様だということに注目しなければならないのです！ 私も、イエス様による神様の深い恵みを知らされた時に、身の回りの状況はこれまでと全く変わらないのに、新たに生き出す力が与えられる経験をしました。何もうまくいっているわけではない、しかし今も神様と共に歩んで(歩めて)いるのだ、と。イエス様が力で世界を支配する王となるのではなく、私を救うために十字架の死まで自らを低めて下さったことの意味が分かった時にです。神様は待っておられます、私たちが「私はあなたを信じます」と告白して、この神様と共に新たに歩み出すことを！